

令和6年度 第2回甲賀市商工業振興計画審議会 会議録

【日時】 令和6年10月4日（金） 15：00～16：30

【場所】 甲賀市役所 別館101会議室

◎出席委員

名簿：別紙出席者名簿のとおり

◎事務局

産業経済部長	近藤直人
産業経済部次長	山本典彦
商工労政課長	桶井幸一
商工労政課課長補佐	高市素宏
商工労政課係長	小野山忠司
商工労政課主査	篠村美佳

◎次第

1. 開会

甲賀市市民憲章唱和

2. 挨拶

3. 議事

- (1) 甲賀市商工業振興計画 計画・実施プランの見直し（素案）について
- (2) 答申（案）について

4. その他

- (1) 今後のスケジュールについて

5. 閉会

1. 開会

甲賀市市民憲章唱和

2. 挨拶

3. 議事

(1) 甲賀市商工業振興計画 計画・実施プランの見直し(素案)について

事務局： 振興計画の素案(資料1)、実施プランの素案(資料2)の前回の審議会からの変更点について説明

委員長： ご意見・ご質問があればお願いします。

委員： 計画素案(資料1)の15ページ、信楽焼生産のところで、2028年度の目標が672万円で2%増ということですが、どこから計算をするとこの数字が出てくるのか説明願いたい。

事務局： この部分につきまして、2023年に大型のメーカーの廃業があり、大きく数字が下がっている状況を把握しており、そこからの2%増で2028年度の数字を計算しています。

委員長： 2023年に大型の事業所が辞められたということで、一人当たりの額が大きく下がったということですか。進捗評価指標に2023年に609万円と書いてあるので、ここから2%増ということでしょうか。

事務局： はい。

委員長： 計画のところで下に注釈を書いて、説明したほうがいいです。

事務局： 基本目標3に注釈をして説明を加えたいと思います。

委員： 実施プラン(資料2)の11ページ、青色で修正している「将来、市内の製造業に携わるものづくり人材を育成します。」というところで、前回の理系人材の表現方法で変えていただいたところだと思うが、この書き方だと工業寄りになるところが気になります。やはり、ものを売るという人材育成もすごく大切だと思っています。例えば、近江商人という言葉があるが、ものを作って売るとい

人材までを支援するという、いい表現方法があればいいかと思います。可能であれば検討いただきたい。

事務局： ものを作る、それからものを売るというところは前回の審議会でも意見をいただいて、確かに用語解説にも書かせていただいているように、平仮名のものづくりというのは特に製造業のものを作るところに特化しているイメージになるので、すぐにいい言葉が浮ばないが、甲賀市らしい言葉があれば検討したいと思います。

委員長： もし何かいい言葉があれば皆さんぜひ教えてください。ものを売るということも含むかは、大切なことであるので、検討していただきたいと思います。他にご意見ございますか。

委員： 説明をいただいて、前回の議論を踏まえて、内容等盛り込んでいただいたのではないかと思います。外国人材をはじめ、人材の育成に力を入れていくというビジョンもしっかり見えているのでよいのではないかと思います。今回、特に企業の方デジタル化、そしてDXということで、単純なデジタル化だけではなく、今後しっかり業務改革に繋げていくということを記載いただいているのでよろしいかと思うが、なかなか一足飛びにデジタル化、DX化というのは難しいと思っています。どこから手を付けたらいいのだろうという話はよく聞くところで、意識づけや啓発等も含めて、取り組んでいただけるとありがたい。

委員長： ありがとうございます。

委員： 恐らく数十年という単位で、毎年平均すれば1,000人近い人口が甲賀市も減っていく時代に入ってきていると思います。そこで、移住の施策もあるが、現実的にはすごくハードルが高いように思います。住民税を増やしていくのは大変だと思うが、住民税よりも消費税を引き上げていくとか、そういう形で甲賀市に住んでいないがしっかりお金を落としてもらえるような取り組みが増えるといいかと思います。そういう施策みたいなものが、商工業を含め観光も重要なことだと考えています。

観光面でいうと、甲賀市は便利な場所だと思っています。セントレア、伊丹、関空、神戸空港まで2時間圏内で空港が使える。新幹線も京都、名古屋も遠くない距離で、高速も3つインターチェンジがあって、移動するという面ではすごくいい立地で、便利だと実感しています。どこかに出向くのは便利なので、当然ながら、来る方も便利だと思います。来てもらうネタとか資源さえあれば、来てい

ただけるポテンシャルが抜群だと思うので、この環境を生かすことができればと考えています。

委員長： ありがとうございます。

委員： 今も発言がありましたが、やはり甲賀市は観光客が来られる。特に今は海外のインバウンド客が、先日も交通の便がいいということで忍術村に来られていた。セントレアから京都へ行く間にどこか日本らしいところはないかということで、甲賀市を選んでもらったという、それも甲賀市の強みの一つかと思います。

質問ですが、計画素案（資料１）１５ページ進捗評価指標の、２０２８年度目標の市内観光消費額１９５億円の中にはインバウンド客の金額も入っているということですか。

事務局： 入っています。

委員： これからどんどん観光客が増えていって、甲賀市にお金を落としてもらえる想定ということですね。観光協会としても、お金を落としていってもらえるように頑張りたいと思います。

委員長： ありがとうございます。

委員： 実施プラン（資料２）１３ページの重点プロジェクトの中で、「市場縮小、人材不足、流通構造の変化等により経営環境は年々厳しさを増している中、原材料価格・燃料価格等の高騰の影響等を受けている小規模事業者の活性化に取り組まなければ」とあるが、現実的に、個々の値上げ等をするしか方法がないと思います。一時的に補助金を出したとしても、それが活性化に繋がるかというところ、なかなか持続的には難しいのではないかと思います。販路拡大支援等、商工会がされているのは知っていますが、商売をされている以上は、営利を出していかないといけないというところで、一時的な補助だけではなく、業種の展開等をどういう形で支援していけるのかというところが大切だと思います。

委員長： 貴重なご意見ありがとうございます。

委員： 計画素案（資料１）９ページの５番は、青字で「外国人材」の用語を追加されていますが、１７ページの⑤は「外国人の活躍促進」になっています、「外国人材」に統一した方がよいのではないかと思います。

ものづくり人材というところで、小さい子に地元企業を知ってもらう、というのは非常に大事なことだと思います。産業支援プラザでも、何とか地元に留めていかないといけないということで、まずは地元に関心がある企業があるということを知ってもらうのが大事だと考えています。プラザでもパンフレット等で企業等を紹介しているが、ここの工場でこんなことをしているんだとそういう説明ができると、親しみが湧いて興味を持ってもらえるのではないかと思います。

委員長： 「外国人」「外国人材」は統一をお願いします。

事務局： はい。整合性を図りながら、対応していきたいと思う。

委員： 前任から引き継ぎまして、今回初めてこの審議会に参加させていただいているが、今日はこの素案の方をまとめて、市の方に提案するということですか。環境整備に努めますとか、支援をしますとか、色々書かれていますけど、どういうことを具体的にさせていただけるのか、というのが提案にしては分からないと思う。それと、甲賀市内を見ると、100人が団体で入れるような施設がない。この辺で例えば、ゴルフをしても、食べに行ったり、飲みに行ったりするのは草津市や大津市、京都、三重へ行ったりする。甲賀市はたくさん観光に来られるが、その割に施設が整っていないので、その辺も検討された方がいいと思う。

それと、私は運送業をさせていただいているが、今日も新聞やニュースを見ると、人材不足で、運送業と建設業の倒産が相次いでいると言っていた。何が問題かということ、特に2024年問題で、従業員は働きたいけど働けない。会社としても働かせたいが働かせられない。結局1日当たり、時間当たりの単価を上げないと、従業員が生活できないということがある。ルールとしては守らないといけないし、あくまでも企業努力ではあるが、そういう問題がある。甲賀市も人口が減ってきている中で、特に修理工場でも、外国人を何人か雇っているが、市の方から何か支援をいただいたかということ、結局、派遣会社の方から手配をしていただいた。泊まる場所なども、結局は会社で負担して、言葉も話せないの、通訳の人を雇ったり、最終的には企業が負担しないといけないということです。今日、外国人の方にも賃金は日本の方と同じような賃金を払わないといけない。だからといってすぐ仕事ができるかというと、そういう訳にはいかない。その辺りを、私ども以外にもたくさん外国人の方を雇用されている企業はたくさんあると思うので、具体的にどういう風に市が取り組んでいくのかということ、を明記していただければ、どんどん外国人の雇用もできるのではないかと思います。今回初めて参加させていただいて、皆様の意見も聞かせていただいて、理解できましたので、今後ともどうぞよろしくお願いします。

委員長： オンラインで参加していただいている委員から一言いただけますでしょうか。

委員： よろしく申し上げます。今の話の中で、私どもは企業なので、生産を上げ売上が上がることが地域貢献なのかと思いますが、先ほど話に出ていた中で、外国人材ということで、弊社も何人か雇用をしています。素案計画（資料1）17 ページ⑤にある外国人材の活躍促進という中で、彼らは何を求めて、何があれば一番、企業に残って働いてくれるのかというのを皆で考えて、外国人の定着が今後の課題だと思っています。二つ目は女性活躍ということで、同じく⑤に挙がっていますが、機械が発達してきて、我々は鉄の仕事をしています、当然男性がやる仕事だと思い込んでいるところがありましたが、今は街の中でダンプカーを女性の方が運転しているのを見ます。そういう仕事を望まれている女性の方も、世の中にいらっしゃるのかなと、そのような女性の方と一緒に仕事ができたら、女性活躍の目標に貢献できるのではと考えています。

もう一つ、これは国家の問題かと思いますが、やはり従業員の方で、どうしても働きたいという方が何人かいらっしゃる。体力もあるし時間もあるので働かせてほしいという中で、仕事もあって、働きたがっている人もいるのに、それを労働時間の関係で断らないといけないということも多々ある。これをしていては、外国にはなかなか勝てないのではないかと思います。お互い了解のもとだったら Win-Win の契約になるということで、法律のことなので曲げることは難しいかと思うが、できれば市の方で検討いただければ売上アップに繋がるのではないかと考えています。

委員長： ありがとうございます。なかなか難しい課題を言っていただいたかと思っています。

委員： 信楽焼といたしましては、先ほど質問にもありましたように、計画素案（資料1）15 ページの、2028年度の目標の中で、令和5年に大手メーカー、いわゆる外壁タイルの工場が破産になりまして、生産額が6億ほど減っております。それで、2028年度の目標はそれを加味した数字になっています。現在は、食器等の売上も伸びているみたいですし、温浴施設用の浴槽等、受注に対して生産が間に合っていないという状況です。産地のブランドや知名度を高めていきたいと思っています。信楽焼は、生産規模は小さいですが、世界的にも知られています。先ほどお話にもありましたが、甲賀市は忍者というものもありますし、土山のお茶や信楽の朝宮茶もあります。私が思うには、外国人観光客は大分前から爆買いされるということが言われてきましたが、日本製品の良いものは買いま

くる。飽きてきたら次は体験型という話があって、色んなところで体験される。次にどこに行くかという、よりレアなところ、誰も行っていないような知らないところに行きたいというような時代になってきたと思います。大都市圏とか有名なところは京都とかすごく外国人が溢れているというのは今でもそうだが、京都から甲賀市は割と近いのに、そこに呼び込めていないというのは、もっとアピールが必要だと思います。忍者の体験や、信楽焼をもっと知ってもらうとか、そういう意味で、甲賀市に来てもらう。観光客を呼び込むということにもっと力を入れるべきではないかと思っています。

委員長： 各委員からそれぞれの業界ことや、甲賀市の課題についてもご指摘いただいたかと思います。いくつかご指摘いただきましたので、それについて踏まえた形の素案を仕上げていきたいと思います。そのことにつきまして、事務局と調整することを私に一任していただければと思います。よろしいでしょうか。

各委員： はい。（異議なし）

委員長： それではそのようにさせていただきます。続いて、協議事項の（２）に関して、答申案について説明をお願いします。

（２）答申（案）について

事務局： （答申案）（資料５）について説明

委員長： 答申案を読み上げていただきましたが、何かご意見、ご質問ございますか。それではこれにつきましては、ご意見ございませんので、この案の通りとさせていただきます。よろしいか。

各委員： はい。（異議なし）

委員長： 用語解説について少しコメントをさせていただきたい。いくつか気になるところがあり、例えば ICT のところ、意味は「情報通信技術」と書いてありますが、これは日本語にただけになっています。それから、教育ファームについては本文からなくなったので消した方がいいと思います。グローバル競争のところは、国際市場におけると書くと、企業間がいいが国家間というのは少しまずい。国家間の参入障壁というのも言い方としては変だし、国家政策というのもあまり使わない。次のページ、高度外国人材のところ、代替できないというのも言い過ぎである。シティセールスのところは「シティ」の話なので内容が合っていない。そ

れから、デジタル化と DX 両方言っているので、デジタル化も用語解説に入れた方がいいのと、DX がデジタルトランスフォーメーションの略というのは少し乱暴な言い方になっている。用語解説はもう一度しっかり見直して、適切な内容にしていただかないと、これは出回るものなので、少し恰好悪いというのが率直なところです。よろしくお願いします。

それでは続きまして、4.その他 今後のスケジュールについて事務局から説明をお願いいたします。

4. その他

(1) 今後のスケジュールについて

事務局： ありがとうございます。ただいま委員長から指摘のあった用語解説については適切に訂正をさせていただきます。

今後のスケジュールについて説明（商工業振興計画（R7～R10） スケジュール概要（令和6年10月4日時点））

委員長： スケジュールについてよろしいでしょうか。そうしましたら、このようなスケジュールで進めていくということで、よろしくお願いします。それでは本日公布しておりました協議事項につきましては以上でございます。ありがとうございます。進行は事務局にお返しします。

事務局： 委員長ありがとうございました。委員の皆様にはそれぞれの立場からご意見を頂戴いたしまして、また円滑な議事の運営にご協力をいただき誠にありがとうございました。皆様のご協力によりまして、全ての協議を終えることができましたことを重ねてお礼を申し上げます。また、冒頭に申し上げましたが後日、本日の会議録を作成し、各委員に送らせていただきますので内容についてご確認をお願いいたします。ご確認いただいた後、市のホームページ等で公開をさせていただくことになりますのでご承知いただきたいと思います。よろしくお願いします。それでは以上を持ちまして、令和6年度第2回甲賀市商工業振興計画審議会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。

5. 閉会